

## ☆【「羊水からシャンプーの匂いがする」というのは本当だった!!】

★皆さん “**経皮毒**” という言葉を耳にされた方は多いと思いますが、私たちは日常生活の中で日々様々な**化学物質を皮膚を通じて体内に取り込んで**います。

例えば、典型的なものが「**シャンプー／リンス**」・「**家庭用台所洗剤**」・「**洗濯洗剤**」・「**歯磨きペースト**」・「**毛染め剤**」・「**化粧品類**」・「**アイラッシュ**」・「**マニキュア**」等々、数えきれないくらいの多くの化学物質、しかも有害な素材を含んだものを毎日私たちは安易に使用しています。これらの化学物質を毎日皮膚から吸収し続けると、それらは**体内に残留**してやがて体のあちこちに**様々な支障をきたす**ようになるのです。

### ◎ **シャンプーの匂いが、子宮から…**

★数年来、弊社の取引先のサロンオーナーの方々と話しをしていると、「**子宮筋腫や子宮がんで切開手術をしてみると、羊水からシャンプーの強い匂いがする患者が激増している**」という情報が私の耳に届くのです。

**いかに市販のシャンプーに含まれる化学物質が私達の体内を蝕んでいるか**というエピソードです。

考えてみればこれは**恐ろしい事実**です。

★これらの化学物質は**[女性は子宮、男性は前立腺]**に蓄積されやすいと言われてます。その理由は皮フからの吸収率の高さに原因しているのです。（下記の「**経皮毒**」吸収率表を参照下さい）

つまり、カラダに溜まった**経皮毒**は、肝臓にも溜まりますが、肝臓はそもそも毒素を中和する臓器の為それほど問題にはならないのに対し、女性の場合は**子宮に蓄積**するので**赤ん坊**にその毒素がダイレクトに入っていくため、**女性は特に危険**なのです。

少し詳しく「経皮毒」についてみてみると、

★体の部位ごとの吸収率は腕を1とした場合、

頭皮	3.5
ほほ	13
額	6.5
わき	3.6
背中	17
陰部	42

シャンプーということで、**頭皮**に焦点を当てると、

**腕の3.5倍吸収率**があります。

また、入浴によって体が温まっているので、吸収率も高いです。

(ほほや額も頭皮以上に高いので化粧品系も気をつけたほうが良さそうです。)

皮膚から吸収された化学物質が血液やリンパに乗って吸収されますが消化や分解器官を通らないので、**分解されずそのまま体に蓄積**されると言われています。

皮膚は、3つの層で構成されていて、通常は異物が侵入してくるのを防いでくれます。

しかし、**合成界面活性剤**などが入っているシャンプーやリンスなどを使うと、**外敵から身を守るためのバリアが壊**されてしまい、私たちの体に有害な物質が侵入してしまいます。

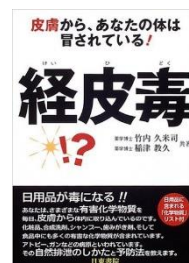
●頭皮や皮膚から入った化学物質は、10日経っても**1割程度しか排出**されず、体内に残ってしまいます。

●そして様々な化学物質は皮膚から吸収され そのほとんどが**皮下脂肪・子宮**に蓄積されます。しかし **時限爆弾**のようにそれは **いつか爆発**します。

●また蓄積された有害物質は、**皮膚を老化**させたり、**薄毛**の原因になるとも言われています。

主な蓄積場所としては

<b>脳</b>
<b>子宮</b> (女性)
<b>前立腺</b> (男性)



※**脳**に蓄積された化学物質は**パーキンソン病**や**アルツハイマー**などの原因にもなります。

**皮膚から吸収された化学物質の分解率は僅か2%**

従って、時間をかけて蓄積された化学物質は

※子宮に経皮毒が蓄積すると

- 子宮筋腫や子宮内膜症や卵巣嚢腫などの原因
- 妊娠による胎児への影響
- アレルギーや免疫力の低下

などが懸念されます。

※因みに、男性の場合は「前立腺」に蓄積されるため、無精子症や精子の奇形率などの増加原因となっていると考えられています。(男性の不妊症の増加傾向)

こうした現実を見つめた上で『日々使用するシャンプーだけは家族皆が本当に安心して使えるものを』という思いで今回オリジナルの安心シャンプー作りを思い立ったのです。

《参考情報入手先》

【池川明 氏】

1954年、東京都生まれ 帝京大学医学部卒・同大大学院修了 医学博士

上尾中央総合病院産婦人科部長を経て、89年、神奈川県横浜市に池川クリニックを開設

「胎内記憶」でも有名なドクター

【山下玲夜(あきよ) 女史】

経皮毒研究会 代表

「経皮毒」の名付け親であり その研究における第一人者といわれている